

1 単元名 「つくろう（創ろう）、南当仁ビオトープ」

2 単元目標

- ビオトープの生き物や植物について調べ、ビオトープの役割（生態系・児童に対して）やビオトープに関わる地域の人たちの想いについて知る。 【知識及び技能】
- 調べて分かったことや人々の想いについてまとめ、受け継いだ想いや大切にしたい思いについて表現することができる。 【思考・判断・表現】
- ビオトープについて学んだ「こと」や「想い」など、課題解決についてつながる行動についての発信し、自分のこれからの行動について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】

3 単元について

（1）教材観

本校にはビオトープがあり、児童は1年生のころから慣れ親しんでいる。理科や生活科で季節ごとの生き物の学習や休み時間の遊びなどで、ビオトープに対する興味も高い。しかし、ビオトープにどんな意味があるのか、なぜ、南当仁小学校にあるのか、だれがつくったのか、ビオトープについて知っている児童は少ない。ビオトープは掃除時間に掃除こそすれ、維持管理は児童の手では行われていない。ビオトープの意味を知り、つくたていとびとの願いに触れることで、ビオトープに対する愛着を育て、学校や地域のほこりとして認識し、守り受け継いでいく意識と実践力を育てる教材である。

（2）指導観

理科の「季節と生き物」の学習をきっかけに、生き物しらべから、ビオトープの意味、誰が、どうしてビオトープを学校につくったのかを知ること、地域の人々の願いや想いを受け継ぎ、自分たちの出で守ろうとする意識と実践力を身につけさせたい。そのために、まず、ビオトープの多様な生き物について調べ、近隣の似たような学校とは生物の環境が違うことに気づかせる。また、導入時にビオトープづくりに関わった公民館長の話を聞くことで、学校や子ども達に願いがあること、みんなのために作られたことに気づかせる。

調べる段階では地域の様子やビオトープの今と昔を見ることで、ビオトープの役割について気づき、このままではビオトープは朽ちていくことに目を向けさせる。みんなのためにあるビオトープのために、自分にできることはないか考え、今、すぐに取り組めることやビオトープに必要なことを調べまとめしていく。

深める段階では自分たちにできることを検討し、継続して取り組むことができる内容を実行に移す。

広げる段階では、調べて分かったことや自分たちが大切にしてきた想い、自分たちにできたことをビオトープ発表会で3年生に伝え、来年は3年生がビオトープを守ってほしいことを伝え、意識の

伝承に繋げていく。

4 ESD との関連

ESDの視点

- 有限性：ビオトープはあるだけではいずれ朽ちていく。
- 連続性：作られたときの想いを大切にし、引き継いでいく。
- 責任性：自分たちが残していくという意識を持ち、積極的に関わっていく。
- 相互性：生命・想いはつながっている。

ESDで育てたい資質・能力

- 批判的に考える力
- 未来像を予想して計画を立てる力
 - ・今できることや継続していくことなど、ビオトープを守っていくことにつながることを多面的に考える。
- コミュニケーション能力
 - ・学んだことを伝えたり、地域の人にインタビューをしたりする。
- 他者と協力する態度
 - ・個人でできること・集団でできること、ビオトープを守るために、みんなで協力しようとする態度。
- つながりを尊重する態度
 - ・地域の人の思い・自分たちの思いを受け止め、また、まとめ、次の世代に繋げていこうとする態度。

※達成が期待できるSDGs

- 目標15 陸の豊かさを守ろう
- 目標11 住み続けるまちづくりを
- 目標17 パートナリーシップで目標を達成しよう
- 目標13 気候変動に具体的な対策を

4 単元の評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① ビオトープの生き物や植物について調べ、ビオトープの生き物について理解している。	① ビオトープの今と昔を比べ、課題を見出し、解決の方法を考えている。	① ビオトープに関心を持ち、自分たちもビオトープを守りたいという意識を持っている。
② ビオトープについて調べる中で、作った人々の思いについて理解している。	② 調べて分かったことや人々の思いについてまとめ、行動目標に書き込んだり、まとめの紙に表現したりすることができる。	② ビオトープについて学んだことや課題解決につながる行動について発信している。

5 単元の指導計画（全22時間）

	主な活動内容	支援及び留意点	評価基準
見 つ め る 4・5月	ビオトープの観察 ① ビオトープの生き物や植物を調べ、ビオトープについて知る。 ② ビオトープ作りに関わった公民館長の話を聞き、ビオトープには様々な人達の思いに気付く。	○理科の季節と生き物と関連付ける。 ○ビオトープを作った人の想いに着目させる。	ア① ア②
調 べる 6 月 ～ 10月	ビオトープ観察2 ① ビオトープの昔について知る。 ② 昔と今のビオトープの違いを調べる。 ③ 公民館長の話をも思い出し、ビオトープの課題を見つける。 【関連】校区探検 UD	○ビオトープの昔と今の写真を比較させる。 ○これからもビオトープを残していくためには何が必要かを考えさせる。 ○ビオトープを持続させていくために必要なことは何か、を考えさせる。	イ① イ① イ②
深 める 10月 ～ 12月	課題解決の取り組みについて考える。 ① ビオトープの今後について考える。 ② ビオトープのためにできることはないか考える。 ③ 自分たちにできそうなことを考え、グルーピングを行う。 ④ 自分たちの解決プランを専門家にってもらい、アドバイスをもらう。 課題解決の行動 ① 課題解決の行動 ② みんなでビオトープを守るためにできることを考える。 【関連】社会科「地域の発展に尽くした人々」	○ビオトープの現状から課題を見出す。 ・老朽化 ・植物などの手入れ ・遊び方や掃除の仕方 ・ビオトープの約束創り ○毎日できること、無理なくできること、子どもの力でできること、など、解決の条件を提示する。	イ② イ② ウ①

広 げ る 1 月 3 月	ビオトープを次の世代（3年生）に 引き継ごう ① ビオトープ引継ぎ式の内容を考 える。 ② ビオトープ引継ぎ式を行う。 ③ 関わってくれた方々へ感謝の気 持ちを表現する。 【関連】 道徳 one チーム	○伝えたい内容を ・作った人たちの想い ・ビオトープに込められた 願い。 ・自分たちの取り組み ・3年生に受け継いでほし いこと	ウ① ウ②
-------------------------------------	---	--	--------------

【関連】

1 4月～8月

理科：季節と生物

道徳：願いをつみ上げた石橋（6月）

道徳：アカウミガメの来る浜（10月）

社会：自然災害から人々の暮らしを守る

社会：昔から伝えられるもの

社会：地域の発展につくした人々

道徳：One Team

国語：友情の壁新聞

2 9月～12月

国語：思いやりのデザイン

社会：健康な暮らしを支える

社会：地域の発展に尽くした人々

道徳：心の体温計（10月）

※パンフレット

ユニバーサル都市 福岡

3 1月～3月

国語：友情の壁新聞

国語：心が動いたことを言葉に

道徳：笑顔の花大作戦

道徳：みんなのためにできること

道徳：One Team

特活：委員会活動

6 成果と課題

- カリキュラムマネジメントを軸に総合的な時間を見直すことで、今日か・道徳・総合の関連が明確になり、つけたい力が明確になった。
- 評価の観点が明確になったことで、担任の先生方が学級経営で生かしやすくなった。
- 身近なビオトープに様々な方の想いがあり、自分たちがそれを守っていくことや、見えないところに課題があることに気づくことができた。
- 年間を通して総合を関連付けることで、一年間で育てたい・出会わせたい課題が明確になった。
- すべての人材発掘や所連絡など、担任の先生を交えてできていない部分があったので、連携が課題。
- 教科・道徳の中で、重点的に抑えてほしいところを詳細に打ち合わせでき愛知無かったので、効果が薄い部分もあった。
- 4年生の学年集団が若く、地域とのつながりも薄かったので、担任レベルで地域と結びつきやすいような場の設定が必要だった。

現在の学年終了時に目指す姿

自分たちの住む地域に心と愛着をもち、地域の人たち学校や子ども達への想い、一人一人が町づくりの主体であることに気付くとともに、多様な人たちと協働して、よりよい学校・社会のための行動を自

色々な人たちの想いでビオトープはできているんだね。

総合「ユニバーサルな町 南当仁」

校区にある UD を見つけ、だれが、どんな時に使っているのか、ほかに困り感はないのか、自分たちにできることはないのかを考え発信する。

総合「未来へのステップ」

自分の考えを伝えあい、課題を解決しながら、これまでの自分の成長がまわりの人に支えられてきたことを理解し、自分の夢に向かって進もうとする気持ちを持つ。

教科・領域 総合「創ろう南当仁ビオトープ」

○主に養いたい ESD の資質・能力

【未来像を予想して計画を立てる力】

・ビオトープを守り想いを次の学年につないでいく。

【コミュニケーション能力】

・調べまとめたものを学校や地域に伝えていく。

○主に育てたい ESD の価値観

【相互性】

・ビオトープを作った人たちの想いを受け、自分たちもビオトープを守り、次の瀬谷引き継いでいく。



みんなのために、自然を残したいという願いがあるんだね。

社会科「地域の発展に尽くした人々」

自分のことだけではなく、地域全体の八手に尽くした人たちの学習から、自分たちも地域や学校のためにできることはないか考えさせる。

道徳「One Team」

目的を達成させるためにみんなで力を合わせる大切さ、みんなで対話することの大切さに気づき、これからの自分のあり方について考える。

